

# NEW

Visual Studio.NET/.NET Framework関連ツール新製品レビュー

# PRODUCTS



## VSVIEW for .NET

文書ファイルやデータベースレポートの作成、  
そしてそれらの表示/印刷機能を提供する.NET用コンポーネント3製品



秋月巖ソリューション事務所  
秋月 巖 AKIZUKI, Iwao

問  
合  
先

グレープシティ株式会社

TEL : 022-777-8211

FAX : 022-777-8233

URL : <http://www.grapecity.com/>

MAIL : [sales@grapecity.com](mailto:sales@grapecity.com)

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Environment

ターゲットOS  
Windows 2000/XP

価格  
98,000円 (WebReports Edition)  
78,000円 (Reports Edition)  
58,000円 (Preview Edition)

### VSVIEW for .NETの概要

VSVIEW for .NETには以下のように  
3つのエディションがある。

- ・ VSVIEW for .NET Preview Edition  
(以下Preview Edition)
- ・ VSVIEW for .NET Reports Edition  
(以下Reports Edition)
- ・ VSVIEW for .NET WebReports  
Edition (以下WebReports Edition)

この製品分けは実はもっともな製品  
構成なのだが、製品説明だけ見ている  
とすぐにはわからない。まず前提とし  
てPreview Editionに機能を追加した上  
位モデルがReports Editionであり、そ  
れにさらに機能を追加した上位モデル  
がWebReports Editionである。ここま  
ではわかりやすい。しかし、今回、評  
価に使用したのは最上位モデルのWeb  
Reports Editionだったこともあり、ど  
こからどこまでを各エディションがサ  
ポートしているのかを把握しづらかつ  
た。とはいえ、WebReports Editionで  
も、それぞれのエディション別にヘル  
プやサンプルが分けられて提供されて  
いるのは私としては助かった。

まず、エディションの名称から私が  
想像したのは、Preview Editionは印刷  
ができずプレビュー機能だけを提供し、  
Reports Editionでは印刷ができるよう  
になり、WebReports EditionではWeb  
アプリケーションに対応するのだろう、  
ということだった。

実際はWebReports Edition、Reports  
Editionはもちろんのこと、Preview  
Editionでもちゃんと印刷はできる。で  
は、Preview EditionとReports Edition  
では何が違うのかというと、一言でい  
ってしまえば“データベースに直接ア  
クセスする機能があるかないか”、そし  
てそれに伴って“データベースレポ  
ートのテンプレート利用機能があるか  
ないか”である。

まずは、この3製品に対しての私の評  
価を簡単に示しておく。

#### Preview Edition

Windowsプログラムに文書の表示/  
印刷/保存機能を簡単に追加できるの  
は評価できるが、私だったら、XML+  
XSLとWebブラウザで同じことを実現  
するだろう。

## Reports Edition

ビジュアルなデザイナーで作成した表示/印刷フォーマットを、プログラム内で動的に生成したDataSetオブジェクトがもつデータに適用できる仕様は素晴らしい。また、データベースから出力した表示/印刷結果を文書として保存できるので、メールベースでデータベースの結果をやりとりできる。

## WebReports Edition

印刷内容をPDFとしてWebブラウザに表示できるので、開発者が期待したとおりの印刷結果をクライアントコンピュータで得ることができる。これはWebアプリケーション開発においては画期的なことである。

### ■製品構成と用途

最終的に、私はこの3製品を高く評価した。ただ、このVSVIEW for .NETという製品は、どういう目的の製品なのか、けっこう理解しにくい製品だ。つまり、この製品を買うとどのようなプログラムを作れるようになるのか、はっきりとイメージしにくいのではないかと思う。プレビューができるとか、印刷ができるとか、部分的には用途がわかってもトータルで何を狙っているのかわかりにくい。もちろん、.NETに非対応の以前のバージョンを使っていた人なら問題はないだろうが、新たにこの製品に接する人には少し漠然としているのではないだろうか。というのは、この製品を受け取ったときの私がそういう気持ちになったからである。当然、私はすぐにグレープシティ社のホームページにアクセスしたわけだが、ホームページをみてさらにわからなくなった。

そこでこのレビュー記事は、まずそのような人にこのコンポーネントの意

義を理解してもらうことから始める。しかし、レビュー記事がこのようなことから書き始めなければいけないということは、それだけこの製品のマーケティングメッセージが失敗しているということだろう。最終的に私はこの製品を高く評価しているの、少しもつたないと思う。しかも、最終的に私はこの製品を高く評価したとはいえ、その直前まで「この製品はいい部分もあるが、あまり実用的ではない」と考えていた。それは製品理解というより、技術的な理解の不足によるものだったが、評価作業の終了直前までそれに気づかせないということに、この製品のドキュメントやサンプルプログラムの構成に問題があると私は考えている。

最近、Microsoftの開発ツールなどを評価していても、「開発ツールの提供者が、我々のようなエンドユーザー開発者が望んでいることを理解していないのでは」と感じる人が多い。最近のツールは、アーキテクチャとしてはよく考えられているので、結果として必要なことはできるのだが、そこまでのアプローチ方法が具体的に書かれていないことが多い。

### ■ VSVIEW for .NET Preview Edition

まず、Preview Editionの機能について説明しよう。この機能を理解してもらうためには、Microsoft Word (以下Word)と比較するとよいだろう。Wordが「COMインターフェイスを介して他のプログラムから制御できる」ことを知っている人は多いと思う。これで何ができるかというと、他のプログラムからWordを起動し、Wordが対応する文書ファイルを開き、その文書内容を画面に表示し、内容を変更し、印刷して、保存することが可能だ。これと同

様なことが、Preview Editionでは可能である。

開発するプログラムのウインドウ内で文書が表示できることなどは、Wordをプログラミングコンポーネントとして使用するよりも優れているが、それ以上に大切なのは「VSVIEW for .NETならばクライアントでライセンスフィーがかからない」ということである。つまり、Wordを使用する場合、すべてのクライアントにWordを購入してインストールする必要があるが、Preview Editionを使ったプログラムならば、コンポーネントを開発したプログラムと一緒に配布することができる。

とはいえ、Preview Editionはあくまでも表示/印刷コントロールなので、Wordのように人間が手でデータを直接入力することはできない。

Preview Editionを使ってデータベースアプリケーション用の印刷機能を実装する場合、開発するプログラムでデータベースにアクセスして、その内容を一度Preview Editionの文書データに出力する必要がある。もちろん、この文書はVSVIEW独自テキスト形式のc1dファイルとして保存して後で読み出すことも可能だし、また、保存せずに印刷(とプレビュー)だけを行なって破棄することもできる。なお、VSVIEWでは独自のc1d形式以外にPDFとHTMLによるファイル出力が可能だが、これらの形式のファイルを読み取ることはできない。

### ■ Preview Editionを使った簡単なプログラム

図1は簡単なサンプルをVisual Studio .NETで開発している画面である。Windowsフォームに「ドキュメントの作成」ボタン(Button1)、文書表示用のC1PrintPreviewコントロール(C1Print